

「キヤラチ」

CATCH

VOL.78

2015.7



西東京市図書館

ガツンと読もうぜ！！

シリーズ特集

～長い夏休みに長い物語を～

『はたらく魔王さま!』①～⑫

和ケ原聡司 著 KADOKAWA

題名の通り魔王さまが働きます。もっと詳しくいうと、異世界エンテ・イスラで魔物を統べ、人間を支配しようとしていた魔王サタンが勇者との戦いに敗れ、腹心の部下であるアルシエルと命からがら逃げてきた先が日本。生命力である魔力を失い、真奥貞夫^{まおうさだお}として日本人に身をやつし毎日必死に働く魔王が日本でたてた目標はもちろん「世界征服」！しかし、バイト先の店長を超える事が世界征服への第一歩なんて言い出す始末。とことん人間社会に毒されてしまった魔王ですが、やる時はやります。一応これでも魔王さまなんで。

設定だけでもおもしろいのですが、なんといっても敵とのバトル！これも見どころです。勇者に襲われたり、引きニートに生活費を食い荒らされたり、マグルナルドのクルーとして向かいのセンタッキーと張り合ったり（笑）

ギャグあり、笑いあり、人外ありの何でもありなお話です。シリーズ 13 作と番外編、アニメ化もしている作品です。人気なので予約をするならお早めに！

『ゴーストハント』①～⑦

小野不由美 著 メディアファクトリー

みなさんは、幽霊や呪いを信じますか？

渋谷の一角にオフィスを構える「渋谷サイキックリサーチ」では「ゴーストハント」を行っています。仕事は、もちろん文字通り幽霊退治。この本は、その「渋谷サイキックリサーチ」に依頼された事件のお話です。

この本の主人公、谷山麻衣は16歳の高校生で、バイトとしてここで働いています。麻衣は最初、この事務所の所長である渋谷一也（通称：ナルシストのナルちゃん）が仕事で学校に来た時、助手であるリンさん（本名不明）にけがを負わせた拳句に高額のカメラを壊してしまったことにより臨時の助手として雇われました。

そこでは、後々仲間になる巫女の松崎綾子や坊主の滝川法生、エクソシストの

ジョン・ブラウン、そして霊媒師の原真砂子達と出会う事になりました。

そして麻衣は、最初の事件が終わった後、渋谷に「うちで働かないか」と誘われ、働くことになりました。

この本は、とても現実的な「ゴーストハント」をしています。普通、幽霊退治と言われるとお経を唱えてたり、線香をたいたりなどとても胡散臭いイメージを持つと思います。

しかし、この本では科学を使って謎を解明していきます。その分、読んでいてミステリー小説のような気分を味わえてとてもわくわくすることができる本です。

また、巻を追うごとに、団結し成長していく麻衣達を見るとこっちも嬉しくなれるような本です。

笑いあり、涙あり、恐怖ありのこの本を読んでみてください。

『獣の奏者』①～⑧

上橋菜穂子 著 講談社

エリンは獣ノ医術師をしている母・ソヨンと暮らす10歳の少女。二人が暮らす村では戦の道具として使われる闘蛇（とうだ）を育てていました。しかしある日、その闘蛇の突然死によって責任者であるソヨンは罪に問われてしまいます。エリンは必死に母を助けようとしますがその願いは届かず、彼女は母と引き離されて天涯孤独の身となってしまいます。孤児となったエリンはその後エリンを助け出した蜂飼いのジョウンの元で暮らし、教師師長のエサル^{てんがいこどく}の導きにより、傷ついた王獣の仔・リランに出会います。決して人と心が通じないと思われていた孤高な王獣を、エリンはリランを救いたい一心で献身的に治療にあたり、その成り行きで王獣を操る術を見つけてしまいます。類まれなる才能が開花したその時、エリンは王国の勢力争いに巻き込まれ、波乱万丈な人生を送ることとなるのです――。

この物語は、エリンや獣や周りの人たちが与える様々な愛だけではなく、それを守ろうとする「強さ」が軸に動いています。母と別れ、新たな生活を見出し、その中でエリン自身も獣ノ医術師になることを決意する闘蛇編、リランと出会い、決して馴らしてはいけない王獣の孤高な存在に近づき、王国の運命を左右することとなる王獣編、その11年後、新しい家族に囲まれる中で母の死の真相を辿ることになる探究編、自ら武器として操る王獣をいつかは野生に帰し、家族と平穏に暮らしたいと願う完結編――。ずしりと重い4冊の本に詰まった、そんなエリンの真っ直ぐな生き様を、どうぞ噛みしめて読んでみてください。番外編「刹那」もお忘れなく。

『櫻子さんの足下には死体が埋まっている』①～⑦

太田紫織 著 KADOKAWA

この本の舞台は旭川。館脇正太郎はある日、美人で名家のお嬢様なのに「3度の飯より骨が好き」という九条櫻子さんとひょんなことで関わりを持つことになった。この本は、正太郎がそんな骨を愛して止まない櫻子さんと一緒に骨が関係する事件を解決していくというミステリー小説だ。櫻子さんはたった一つの骨から事件の真実を見つけ出してしまうこともあるくらい、豊富な知識や法医学の知識を持っている。しかし、その真実は必ずしも良い結果をもたらすとは言えず、全ての事件が気持ちよく解決する訳ではない。

この本は、ミステリーとしても充分楽しめる。しかし、それ以外にも沢山魅力的なところがあると私は思っている。キャラクターの人物像はもちろん、北海道ならではの情景や、読んでいて実際に食べたくなるほど美味しそうに書かれている食べ物の描写などなど……。それらも読んでいてとても面白くて為になる。そんなところもこの本を読んでいて楽しめるところなのだと思う。また短編集なので気軽に読むことができ、あっという間に全シリーズ読み終わってしまうような作品なので是非読んでみて欲しい。

『シュガーアップル・フェアリーテイル』①～⑬

三川みり 著 KADOKAWA

2014年9月に角川ビーンズ文庫より最終巻が出版されたシリーズである。本編15冊、短編集2冊の17冊が出ている。

人間が妖精を使役することが認められているハイランド王国。そこで旅をしながら生活をしているアン・ハルフォード。母を亡くしたばかりで、その母のあとを継ぐために「銀砂糖師」になることを決意、王都に一人で向かう。

その道中で用心棒として、妖精であるシャル・フェン・シャルを雇うが、妖精を使役することを嫌うアンは、シャルに対して命令することが出来ない。そのため、なかなか二人の距離は縮まらない。

途中で妖精を狩ることを生業としている「妖精狩人」に暴力を振るわれていたミスリル・リッド・ボッドをアンが助ける。助けられたことに恩を感じたミスリルは、その恩をアンに返すためだけにアンたちの旅についていく。

王都についた一行は、早速「銀砂糖師」になるための試験を受けに行こうとするが……。

2010年4月に刊行されて以来、人気を博している。漫画化もしており、こち

らは全 2 冊ある。原作を読んでから、漫画の方を読んでみることをオススメする。ほとんど一巻完結のため、少しずつ読んでみてもいい。もちろん、17 冊一気に読んでみてもよし。なお、個人的には、一気に全部を読むことをオススメする。

『武士道シリーズ』 武士道シックスティーン 武士道セブンティーン 武士道エイティーン

菅田哲也 著 文藝春秋

「私には友人がいて、先輩や後輩もいる。」こんなふうに言える人は、きっと大勢いると思います。けれども、「私には好敵手がいる！」と、そんなふうに言える人は、どれほどいるのでしょうか？

幼いころから剣道を習い、同世代には負けない強い自信を持つ香織。誤審によって全中二位になってしまったが、本当はあの時、自分が相手の頭を斬っていた、メンを取って、勝者となるはずだったと、確信している。強いものが勝って弱いものが負ける。そう信じて疑わなかったのに、地方の単なる市民大会で、無名の選手に負けた。悔しさのあまり、再戦を望んで、相手のいた学校の高等部へ進学するが、剣道部に自分を斬った「甲本」がいない…。

一方、中学に入ってから剣道を始めた早苗。マイペースにのんびり自分なりに楽しみながら、強者揃いとなる高等部でも剣道を続けようと考えていた。そんな中、剣道推薦でやってきたという、般若のストラップがついた竹刀袋を持つ同級生、香織を見つける…。

全く違う人生を歩んできた二人。全く違う性格、全く違う剣道への考え方を持った二人が、出会った。二人の三年間はいったいどんなものになっていくのか…。

この作品は、全三部作となっていて、二人の少女の高校三年間が、一年ずつで語られています。ただし、最後の一冊では、彼女たちの周りの人々の視点からも語られており、それぞれの物語が読める『武士道エイティーン』が、私の一番のおすすめです。さらにその中でも、「シュハリ！」は、学生ならではのモヤモヤ、人間関係って難しい、でもそこがいい！と、そんなふうを感じるお話です。また、「シュハリ」の意味を知ったら、きっと誰かに話したくなるでしょう。「この時代を共に生きる、二人といたって、好敵手。」そんな二人の武士道をぜひ一巻から感じてみてください！



…保谷駅前

YA! YA! ひろば



…ひばり

私もねるの好きです。
でも、ねすぎると
頭がボーっとして
やる気なくしますよね!



あ、ねるべりませんね?
というところで私はまだ起きてまし
朝一着で長いひばりなでねん
みなさんねずみに注意して
お昼寝とか楽しんでみてください。
naniko

どーも、おひさしおひさしです!
3回目とーの、なっちかんでーすめ
今回は、怪盗レッドのクイを描いてみました。
どーぞよーめ。
私は最近、有明浩先生の図書館で子
ばっかり読んでました。
おもしろいんです。めえー。
そう、みなさんは、あとかきって
読んでますかー。私は読んでます。
くくく秋木真先生は。
はい、こーとでみなさんぜひ、ひ
ばりレッドを読んでみてください!

クイさん2!

クイ

私も秋木真先生の本大好きです!
あとがきにキャラクターが出て
くるところがいいですね



コメントはうらゝ

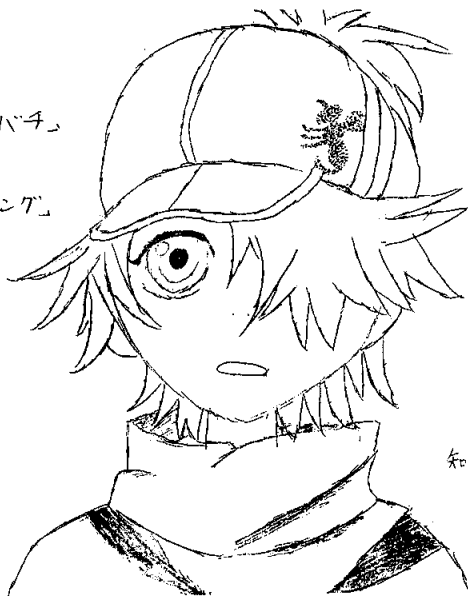




マンガですよね
おもしろそうなので
今度読んで
みますね

「ラガミバチ」

「ラグ
シーン」



これも、は、こ、
カイ作だ、た、ら、

知ってる人、
いるかなあ〜？

〜



私もクラピカ好きです。
私はキメラアント編の
ネテロと王の戦いが
特に好きです。



『ぼくと象のものがたり』

リン・ケリー作 若林千鶴訳 鈴木出版

北インドの貧しい村に住む少年ハスティン。母さんと、妹のチャンダと3人で暮らしていたが、ある時、チャンダが熱病にかかってしまう。高額な治療費を払うためにハスティンがようやく見つけた仕事は、象の世話係だった。家族と離れて、ジャングルのサーカスで住み込みで働くことになった。きつい仕事を押し付けられるハスティンだったが、密猟によって家族と引き離された小象のナンディタと少しずつ心を通わせていく。雇い主のティミルさんはお金儲けのことしか頭になく、サーカスで働く人々や動物にひどい仕打ちばかりした。ハスティンは、なんとかしてナンディタを野生にかえしてやりたいと思うようになった。

自由ってなんだろう？大切な誰かを自由にするために、できることはなんだろう？そんなハスティンの思いが伝わってくる一冊です。

編集後記

初めまして！
今回初めて編集
作業させてもらい
ましたが、とても
楽しかったです。
これからよろしく
お願いします。

桜媛

初めてCATCH
の編集をやります！
こういう作業は
初めてなので
楽しみです！
来年もつづけて
いけたらいいな
と思っています。
よろしくお願いします。
いぬ

お久しぶりです！
CATCH共同編集2年
目に突入しました。今年は新しい
仲間がたくさん増え、にぎや
かになりました。また一年楽しく
やっていきたいと思います。
よろしくお願いします！
りいな